

いきいき

Ikiiki tu-shin

通信

無料
季刊発行
(5, 8, 11, 2月発行)

春号

(4、5、6月号)

Vol.166

「水源の里自然大学」が開講

あやべ水源の里連絡協議会は、京都府立大学と協力し、水源の里4集落を舞台に「水源の里自然大学」を開講します。

水源の里・光野の山内に発見された、京都府の絶滅危惧種「ヒメザゼンソウ」。府立大学による生態調査や保全に一定の目途が立ち、府立大学から「公開するなら、細胞工学や森林資源循環学などを専門にする5名の教授陣が講義をしてはどうか」との提案をいただき、光野の方々も「光野にとどめるにはあまりに惜しい機会」と他の水源の里集落にも呼びかけ、今回の取り組みが実現しました。

今回の企画を提案下さった、府立大学公共政策学科の桂明宏教授は「上林の里山は自然の宝庫。そこに住み、暮らしていることがどれだけ特別なことなのか、そして自然を守ることがなぜ必要なのかを知ってもらいたい」との思いから、上林小・中一貫校にも協力を呼びかけたところ、小学4年生の「ふるさと学習」のテーマにもなりました。

第1回目の講義では、普段は入場が制限されている光野山内で「ヒメザゼンソウ」の花を見学する現地視察を行った後、府立大学の武田准教授が「自然に埋もれる地域の宝 ヒメザゼンソウの花ってどんなの？」と題し、4年間の調査・研究の成果とともに講演が行われます。なお、いずれも事前申込が必要になります。既に多くのお申込みをいただいておりますので、お早めにお申込みください。

●第1回水源の里自然大学

【日時】6月7日(金)13:00～16:00 【会場】水源の里・光野 【講師】武田 征士 准教授

【申込】現地視察:30人、講演会:50人 【締切】6月3日(月) ※他の回は実施日の1週間前

【申込先】上林いきいきセンター TEL.54-0095 FAX. 54-0096

●第2回以降(予定)

第2回 7月12日(金) 会場:水源の里・市志 担当:中尾 史郎 教授
テーマ:「昆虫を知り、護り、利用することの意味」

第3回 9月18日(水) 会場:水源の里・老富 担当:大迫 敬義 講師
テーマ:「人と自然の係わり合いの場としての里山」

第4回 10月1日(火) 会場:水源の里・古屋 担当:糟谷 信彦 助教
テーマ:「里山にある様々な広葉樹を人間はどのように利用してきたか」

第5回 11月下旬(予定) 会場:上林小・中一貫校 担当:桂 明宏 教授
テーマ:「森のもつ多面的価値ー森を護ることの大切さを考える」

<p>-講師-</p>  <p>武田 征士 准教授</p>	<p>自然に埋もれる地域の宝 ヒメザゼンソウの花ってどんなの？</p> <p>花は、虫や鳥に花粉を運んでもらうために、色々な形に進化してきました。光野が誇る希少植物、ヒメザゼンソウの花や花器官は、どこにあるでしょうか？花の構造や役割、ヒメザゼンソウの特殊な花について学びましょう。</p>
<p>-講師-</p>  <p>中尾 史郎 教授</p>	<p>昆虫を知り、護り、利用することの意味</p> <p>昆虫の種類や性質を知ることは、私たちが暮らす環境の特徴や歴史を知ることであり私たちの特殊性を際立たせます。「身のほど」を知り、昆虫の力をかりながら、豊かな暮らしを楽しみましょう。</p>
<p>-講師-</p>  <p>大迫 敬義 講師</p>	<p>人と自然の係わり合いの場としての里山</p> <p>人が生活に利用している人にとって身近な自然を里山と呼びます。里山で、人と自然はどのような関係にあるのか？色々見て考えてみましょう。</p>



初披露となる光野の「ヒメザゼンソウ」

水源の里・老富の「ミツマタ・シャガ群生地」今年も絶好調

今や、綾部随一の観光地ともいえる水源の里・老富の「ミツマタ・シャガ群生地」。昨年記録した来場者数 1 万人を軽く突破し、今年には既に昨年を超える来場者がありました。

ミツマタは例年より開花が早く、3 月下旬には見ごろを迎えたため、雪化粧するミツマタの写真を収めるべく、京阪神はもちろん、金沢などから早朝に現地に入られる方もありました。

シャガは例年より1～2 週間開花が遅く、大型連休を過ぎた5 月中旬にようやく満開を迎えました。「今年もすごく楽しみにしていた」と毎年来場されるリピーターが多いことも特徴で、「花見のあとにいただく、老富のおぜんざいで1セットなんです」と美しい花と心のもったおもてなしが老富に足を運ばれる理由のようです。

神戸から 2 時間以上かけシャガを観にこられた方は「想像以上。話には聞いていたがこれだけ一面が彩られているとは思わなかった。」と笑顔で話されていました。

年々注目の高まる「ミツマタ・シャガ群生地」ですが、観光客の増加とともに、運営の負担が増す休憩所「花やどり」にはお手伝いに数十人のボランティアの方がお越しくくださったほか、「この美しい景色を守りたい」と、今年 7 月にも UA ゼンセンによるボランティア作業が予定されています。



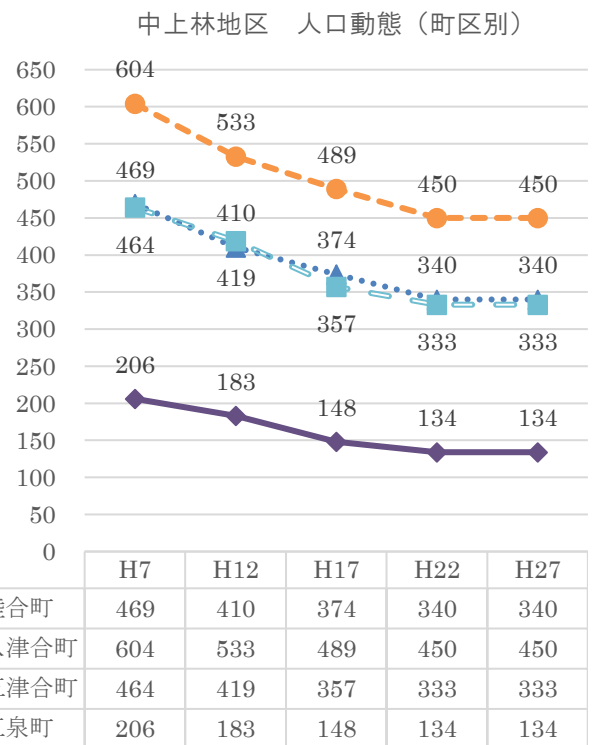
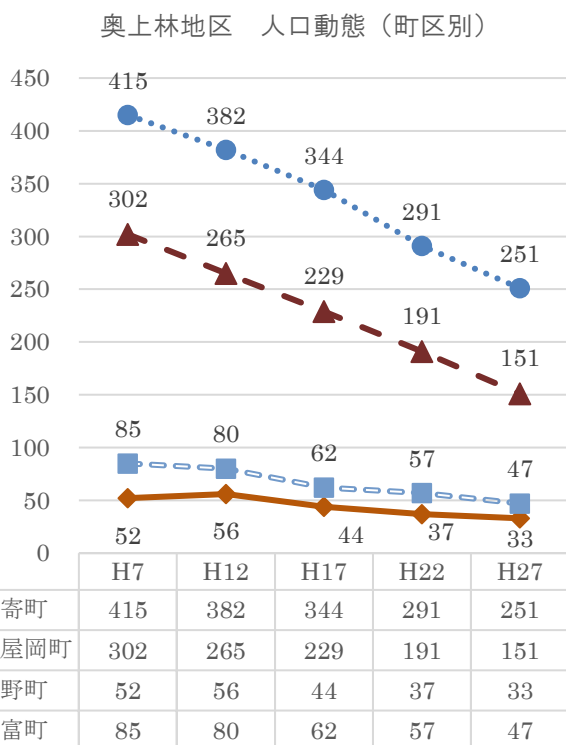
今年も白と緑の美しいコントラストを見せてくれたシャガ

特集 上林地域の人口の「今」

「田園回帰」が言われ、全国でも移住・定住は当たり前のものになりつつあります。令和最初の年となった今年、上林小・中一貫校の新小学生が 14 人となるなど、上林地域でも確実に大きな影響を及ぼしています。

現在の奥・中上林の人口(「図1. 上林の人口動態」参照)を見ると、平成 7 年と平成 27 年の 20 年間で、およそ 20%～50%程度の減少幅であることがわかります。

図1. 上林地域の人口動態(平成 7 年～平成 27 年国勢調査より作成)



水源の里・古屋のボランティア募集日程決まる

水源の里・古屋は、自主応援組織「古屋でがんばろう会」と連携し、集落の特産品製造や道普請、山内整備などボランティアの方々の力を借り、活動を続けています。

4月28日(日)に行われた総会にて、今年度の事業計画や役員体制等が協議されました。

古屋は一昨年の台風被害により、今も一般の方々の入場が制限されており、このボランティアが益々重要になっています。

水源の里・古屋の渡邊和重代表は、これまでから「古屋はボランティアの方々の力によって支えられている集落」と話されており、古屋の特産品製造だけでなく、正に生活に欠かすことのできないものになっています。

各イベント詳細は開催の約1か月前にFaceBook ページ「あやべ水源の里」に掲載するほか、綾部市内各所に設置したチラシをご確認ください。

【問い合わせ・申込先】 上林いきいきセンター

TEL.54-0095 FAX. 54-0096

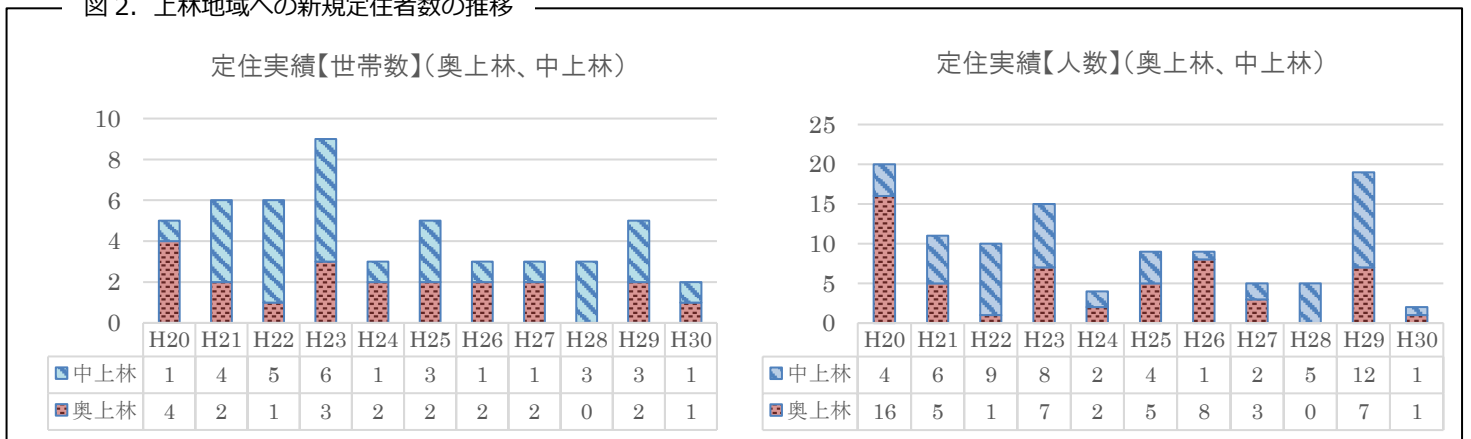
※地域のボランティア情報等を掲載しますので情報をご提供ください。

古屋でがんばろう会 2019年度 年間活動計画	
実施日	内容
6/9	椿の木周辺整備
22、23	栃の木調査
7/13(予定)	栃の木調査
27(予定)	栃の木シカ除けネットの整備
8/10(予定)	栃の木シカ除けネットの整備
24、25(予定)	栃の木シカ除けネットの整備
31(予定)	ブナ林調査
9/4、7、8、11、 16、21(いずれも予定)	栃の実拾い
10/12(予定)	栃の木周辺整備・除伐作業
19(予定)	とち餅づくり体験(予定)
11/2(予定)	薪づくり(予定)
30(予定)	薪づくり(予定)
2/2日(予定)	雪かき作業

綾部市は平成20年度から「定住サポート総合窓口」を設置。地元には空き家の調査や空き家提供の呼びかけ、移住希望者へは物件紹介や移住希望先集落への紹介などに取り組んでいます。綾部市への移住を希望される世帯は約800世帯。平成20年から平成30年の11年間で、窓口を通じて奥・中上林に定住された方々は109人50世帯です。

一方、現在の空き家登録件数は 両上林地区合わせて19軒(奥上林:売却:10軒・賃貸:2軒、中上林:売却7軒)。綾部市全体(綾部地区、中筋地区は対象外)でも74軒(売却67軒、賃貸7件、いずれも5月時点)となっています。

図2. 上林地域への新規定住者数の推移



月刊宝島(2019年2月号)によると、近畿の田舎を対象に行われた「住みたい田舎ベストランキング」で綾部市は堂々5位(全国では32位)。同ランキングの近畿部門の世代別ランキングを見ると、子育て世代が住みたい田舎、シニア世代が住みたいでは2位、若者世代が住みたい田舎では1位に輝くなど、綾部市は大きな注目を得ている状況でもあります。

水源の里でも度々講演をいただいている明治大学農学部の小田切教授は「人口の自然動態(出生・死亡に伴う人口の動き)がマイナスであるために、地域全体の人口は引き続き減少しているが、地元の人々を含めて、多様な人材が多様なルートで形成されている(移住者が移住者を呼んでいる)」としており、また移住者は各地の地域づくりの内容やそれに参画する住民の思いに対して、共感を持ち、選択して参入することも多い」と全国的な動きを解説しています。

(今後も上林を取り巻く状況を掲載していきます)

イベント情報

●第24回二王公園まつり

あやべ二王門登山レース開催に合わせて開催される「二王公園まつり」。今年も各自治会や有志による出店のほか、綾部高校由良川キャンパスなどの出店もあります。

【日時】6月2日(日)

【内容】ふるさとテント村、太鼓演奏、バンド演奏ほか

【問い合わせ先】奥上林公民館 TEL.55-0001



奥上林が一番賑わうイベントの一つ

●ほたるの夕べ

初夏の風物詩ほたるを楽しむ「ほたるの夕べ」の季節がやってきました。中上林グルメの模擬店と7組の地元有志による、ほたるライブも開催されます。

【日時】6月8日(土)16:30～

【内容】ほたるの自然観賞、ほたるライブ、模擬店

【その他】6月6日(木)、7日(金)にはほたる観賞のため観光センターを休憩所として開放(19:30～21:00)

【問い合わせ先】中上林公民館 TEL.54-0002



今年も Y&NGS67 が出演

募集

●「第11回全国水源の里フォトコンテスト」開催

全国水源の里連絡協議会が「水源の里フォトコンテスト」を開催、写真の応募を受け付けます。パンフレットは綾部市役所、上林いきいきセンター等に設置しています。去年から撮影地を全国どの自治体からでも選んでいただけるようになりました。ご応募お待ちしております。

【応募期間】6月3日(月)～8月30日(金)

【応募料】はじめの1点が1,000円、2点目から500円

【サイズ等】

- ・平成28年8月以降に撮影されたもの(合成写真不可)
- ・四つ切ワイドまたはA1、余白または余黒を設ける
- ・インクジェット可。カラーモノクロ自由。単写真不可。

【問い合わせ先】

綾部市役所 定住地域・政策課 TEL.42-4271

いきいきセンターからのお知らせ

◎平成31年度 人事異動について

4月1日の人事異動により今年度は下記体制となりました。

(■は本庁勤務、○は上林いきいきセンター勤務、
網掛けは新たな着任者)

■定住交流部長 四方 秀一

■定住・地域政策課長 朝子 直樹

○上林いきいきセンター長(主幹) 高橋 ひとみ

○主事 大東 豊 ○渋沢 ますみ

○集落支援員 水谷 太一

■課長補佐 村上 裕直 ■集落支援員 村上 宏朗

■山田 和気

◎紙面と発行日のリニューアルについて

このたび、いきいき通信の紙面を全面リニューアルしました。これまではA4両面の紙面構成でしたが、紙幅の関係上、お伝えしたい内容が十分に掲載できない状況でした。今後はA3両面に変更し、より充実した情報発信ができるよう努めてまいります。

またこれに伴い、毎月発行としておりましたところを季刊に改めております。

今後も引き続きご愛読いただきますようよろしくお願いいたします。

FaceBook ページ「あやべ水源の里」

もぜひご覧ください！

→「あやべ水源の里」と検索

